

（一）面 休育館雑誌に於いて、プラス演奏会
（二）面 アンケートの結果我が青費（田中先生）
（三）面 観戦記（大原先生）
（四）面 試合結果
（五）面 応募原稿、柳亭
燕路（鈴木先生）

現テニスコート附近に

資金募集演奏会

生徒会の協力の一環として

七月十三日開かれた生徒員会では、体育館裏の決闘のための生徒の協力態勢を整える決議をした。翌日、その二重と二重をブラッパンド部に部部長の義勇を図るため園藝旅行を要請したが、種々の理由で実行出来なかつたところ、八月二

夜同、現金三千円で行われ、夜屋は漁師の密死であつた。尚この利益は全一建設資金に充てられるという。

(写真) 密死の同僚金盆

下は、数カ所に設置した。これらの花畑は、半手製のもので、これよりひとりでつめて約四畳半の本を縫製してゆくといい量の尚、J・R・O全乗トレニングセンターは去る七月二十一日より五日間、八森中学で一日以下

に於けるま
定時刻
四校で
が参加
な生活
スリル

や。本校もその例に洩れず、最も
とやかに乗入るを引くようにな
なつた。果て開催中の秋田でのリ
ンチ事件もその二つの例である。
学校の方では、本校生ではなかつ
たと云つてはいるが、これだつて
怪しいもの。若し、本校生でな

校内に花を飾る
J・R・C

[illegible]

「うしろの時にぞ、思ひのつゆ物
被るゝの一側であらう」
よく四半五落、四時開墾れは、松
〆、五時開墾れは落第するといふ
慣習。勿論大入試のこととかから
言われるが、秋の夜は長い。虫の
声など聴きながら徹夜しての勉強
は従々まで厭へ出に幾らう。
▼最近、全国的に大中小の集り
事件が頻発する。大は左右翼演
説、小は小中入試の不正、大入

代校校長(武栄)八月十二日午後一時より金魚について行われ、席上で本校体育館誌について話し

吉

ども話(う)つた。

(左は、期別による募金)

第一期生 五期生
各期 四五、〇〇〇
第六期生 十期生
三〇、〇〇〇
第十一期生—十五期生

J.P.C. 団

秋は思案の時でもある。
秋の空塵華として影もなし
あまりにさびし
鳥など飛べ
啄木
秋は感傷の季節でもある。
とにかく秋は何事をするにも最適
の時である。

五〇万円を援助
同窓会開
合つた結果、全
とに決定した。
同会では約五〇
に約五〇、事

かる
 間に協力するこ
 とでさしあたり
 内を援助の目標
 として対応する

洗はれて

三魚点

ゆる秋、食欲
 の秋、燈下親
 しむの秋。
 秋立つは水
 にかも似る

[illegible]

県高
新連を脱退
事務局校に本

先本紙で述べた東京新聞連 盟の東北支部に於ては、六月三 十一日發に於て開かれたるが、 討論は東京新聞社の脱退論が 出て、その司会、東北支部は秋田 県と北支那とを主張した。	理事 會長 松岡 副會長 大石 事務局長 代能
尚、總大會を三月開行し、根 拠と同盟規約などの採択に入つ た。	二年修学 三日一
次、同僚は加藤正一(本郷支店) 氏、同僚は加藤正一(本郷支店)	本年度の年生 十月三日、四日の して代能氏を尊

校

⑤ 鈴木 克隆 二A
④ 工藤 裕弘 一F
③ 梶田 政己 二C

る。参加人員は約二八〇
は五〇〇〇日になり、羽
コースは例年如く、羽
で翌日京都駅、京都を出
良を越えて大阪、大防か
泊で福岡まで、福岡から
泊、東京で一泊して下野
三五分の汽車で佛能、能
五日の二泊三食の旅

本校生ではあるまいが、旅館に女校生と泊つたり、相手を見つけると喧嘩をよつかけたり、誠に驚

心に斷えないことが慣行する。これでは、金床や果実等のものに小心な者や美面な者はチヨツト秋田にも行けなくなる。

●愈々、二年生の修学旅行も近しにた。参加者は目を揃しみにして日暮いてではあろうが、その間に都合で行かれる人もあることでは、二三日は早業もある。

最近五箇年 三省黨刊

大學別入試問題集

化学 白井俊彦著 B六判 二四	物理 白井俊明著 B六判 二四	数学 三省堂編修所編 B六判 二四	国語 三省堂編修所編 B六判 二四	英語 森原隆雄著 B六判 二四	文学 白井俊彦著 B六判 二四
一般社会 三省堂編修所編 B六判 二四	世界史 尾崎謙三著 B六判 二四	日本史 藤井敦彦著 B六判 二四	人文地理 三省堂編修所編 B六判 二四	生物 三省堂編修所編 B六判 二四	理科 白井俊彦著 B六判 二四

問題収録校

英語客観テスト三訂版

新受驗問題集

[illegible]

三省堂